

鹿児島島の植物36

薩摩川内市の溜池の植物

植物担当 大屋 哲

薩摩川内市には、農業用などの溜池が大小50以上あります。溜池に生える植物を調べる目的で平成20年から継続して調査しています。その調査で見られた植物を紹介します。

コウホネ スイレン科 花期7月頃

川や池、沼などに生える多年生の挺水植物です。名前は、川(河)生え、根が白骨のような形をしていることに由来します。葉が水上に突き出ることがこの種の特徴です。また、鑑賞用として栽培されています。

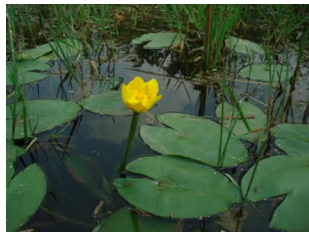


コウホネ

鹿児島県絶滅危惧 類

オグラコウホネ スイレン科 花期7月頃

池や沼などの浅い泥地に生える多年生の浮葉植物です。コウホネに比べて小型で、葉が水上に突き出して立つことがなく、水面に浮いています。名前は、京都の小椋池で発見されたことに由来します。

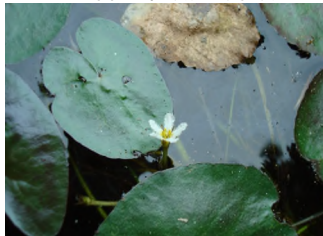


オグラコウホネ

鹿児島県絶滅危惧 類 環境省絶滅危惧 類

ヒメシロアサザ ミツガシワ科 花期7月頃

池や水田などに生える多年生の浮葉植物です。名前の由来は不明ですが、花は白色で、花びらの縁に毛が生えるのが特徴です。



ヒメシロアサザ

鹿児島県絶滅危惧 類 環境省絶滅危惧 類

ホソバミズヒキモ ヒルムシロ科 花期6月頃

池や川などに生える多年生の浮葉植物で

す。浮葉は、細長い楕円形ですが、水中にある葉(沈水葉)は線形をしています。また、花びらをもたない花を咲かせます。

鹿児島県絶滅危惧 類



ホソバミズヒキモ

ヒトモトススキ カヤツリグサ科 果期8月頃
海岸近くの池や、湿地などに生える多年生の湿性植物です。

名前は、一つの株からたくさんの葉がでること(一本ススキ)に由来します。別名はシシキリガヤと言われ、葉が硬くて厚くザラザラしているので、イノシシ(シシ)でも切れるという意味があります。



ヒトモトススキ

別名はシシキリガヤと言われ、葉が硬くて厚くザラザラしているので、イノシシ(シシ)でも切れるという意味があります。

サワオグルマ キク科 花期5月頃

山間部の湿地などに生える多年生の湿性植物で、ときどき群生します。葉や茎には、くもの糸のような白い毛が付きまします。名前は、沢に生え、花の形が小さな車(小車)に似ていることに由来します。



サワオグルマ

鹿児島県絶滅危惧 類

これまでの調査で、ウマスゲ、シラコスゲ、ハリイなどのカヤツリグサ科の湿性植物や、ヒシやヒルムシロ、ヒツジグサやジュンサイなどの浮葉植物も見られました。一方で、特定外来生物のオオフサモがはびこっている池もありました。今後も続けて調査していきたいと考えます。

湿地の植物のおおまかな分け方は、59号「蘭牟田池の植物」を参照ください。